

ときめき人

Tokimeki bito



みんなが笑顔になりますように 私から始める 「すてきリレー」

登米町・遠見台

佐々木 美羽さん

ささき・みう 登米小2年

Profile

3歳の頃から日記を書き始め、書きためた文章は1400日分を超える。作文を書くことのほかに、塗り絵や絵を描くことが大好き。好きな食べ物は、チョコレートとカニ。



「水道週間作品コンテスト受賞者表彰式」で入選した作文を朗読する美羽さん

「受賞の知らせを聞いてびっくり。表彰式は緊張したけど、とてもうれしかったです」と声を弾ませる。美羽さんの作文「むだをなくすわたしの大作せん」は「第59回水道週間協賛懸賞募集」小学生低学年の部（日本水道新聞社など共催）で入選、「みんながえがおでくらするように」は「第67回“社会を明るくする運動”作文コンテスト」小学生の部（法務省など主催）で全国連合小学校長会会長賞（優秀賞）を受賞した。

2つの作品は、普段の生活で感じたことなどがつづられ、「むだをなくすわたしの大作せん」では、水を大切にしている行動が書かれている。母親との会話で、水をきれいにするためには大変な作業があることを知った美羽さん。「水を無駄にしないよう

に」と、妹と一緒に『はや洗い大作せん』などの作戦を実行。「水を大切に使うことは、手を早く洗うと疲れるし、秘密の作戦もあるから大変。でも、水をきれいにしてくれる人や、家に水が届くことに感謝の気持ちを忘れないで、これからも続けたい」。

将来の夢は、医師と母親になること、そして登米市に笑顔いっぱいの子供を増やすこと。「患者さんは全員、心も体も元気にしてあげたい。それと、すてきなお母さんになって、笑顔いっぱいの家庭をつくりたいです。作文を読んでもくれた人が、私と同じ気持ちになってくれたらうれしい」。

作文は、みんなと笑顔いっぱいの子供を増やすために「リレー」のスタート地点。美羽さんの「すてきリレー大作せん」は着々と進んでいる。

編集後記

▼年末年始は、サッカーとラグビーをテレビ観戦。大学ラグビーは、帝京大が前人未到の9連覇を達成した。準決勝、決勝は、負けてもおかしくなかった。しかし、相手の怒涛のような攻撃を跳ね返し、前に進み続けた帝京大。自分も負けずに、前に進むだけ。（及川）

▼成人式の取材に行ってみました。会場内は新成人の笑顔があふれていました。20歳を迎えるのを感じると、みんな親への感謝を口にしていました。「ありがとう」と素直に言えるのは、大切に育てられたことを実感しているからだと思えます。感謝の気持ちを、忘れてはいけません。新成人の皆さんに教えてもらいました。（千葉）

▼正月に餅を食べ過ぎました。仙台藩の時代には、月に2回必ず餅を食べる文化があったとか。取材で百歳を迎えた人に好きな食べ物や、最も多い答えが餅。時代が変わっても、特有の食文化は伝えられている。「あんべ」良くて食べ過ぎたことに反省。（伊藤）



モバイルとめ
（携帯電話版ホームページ）
<http://www.city.tome.miyagi.jp/m/>



登米市メール配信サービス
（防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。）
<https://mail.cous.jp/tomecity/>